

## 藤田紘一郎先生のご逝去を悼んで



残念ながら、皆さまに悲しいお知らせをしなくてはなりません。

「腸が健康にいかにか大切なことがよくわかる」とアクセスもたくさんいただいていた当サイトでも大人気だった藤田紘一郎先生（東京医科歯科大学名誉教授）が、2021年5月14日、誤嚥性肺炎のため、逝去されました。81歳でした。

藤田先生のご専門は、寄生虫学、熱帯医学、感染免疫学で、1983年に寄生虫体内のアレルゲン発見で小泉賞を受賞。2000年にはヒトATLウイルス伝染経路などの研究で日本文化振興会・社会文化功労賞、国際文化栄誉賞を受賞されました。文才にもたけていらした先生は、1995年に講談社出版文化賞・科学出版賞も受賞されています。ご著書数は140冊以上にのぼります。中国や台湾でも翻訳本が出され、その人気は日本のみならずでした。

藤田先生と当社とのご縁は、12年前の2009年から始まりました。

当社が配信した「乳酸菌生成エキスは花粉症に期待できる」のプレスリリースが、当時、産経新聞に掲載され、それをご覧になった先生が、他の新聞のコラム欄でその内容を紹介くださったのです。

御礼のため初めて訪問した際、先生から、「自分の乳酸菌を増やすというのが素晴らしいです。こうしたものがあればいいのにと本当に思っていたのですよ」と有難いお言葉をにこやかにかけてくださいました。大変な感激でした。

そこから、ご講演やご執筆など多岐にわたりご協力いただくようになり、当社のメディカルアドバイザーとなっただいたのでした。

藤田先生とは、お亡くなりになる1カ月前までは、普通にメールのやりとりさせていただいていたいました。共同研究した「乳酸菌生成エキス」もよい結果が出て、先生から、「コロナが収束した折には、約束の慰労食事を皆さんでしましょうね。楽しみにしています」のメッセージをいただいていたばかりでした。それだけに、突然の訃報に驚き、一同、耳を疑いました。

ご生前、藤田先生は「100歳まで生涯現役」「腸の大切さをより多くの方に広めたい」、常々そうおっしゃっていました。当サイトでは、叶うものならば、そのご意思を少しでも引き継ぎ、藤田先生の教えをこれからもお伝えしてまいりたいと願っております。

藤田紘一郎先生のご冥福を心よりお祈り申し上げます。

株式会社ビーアンドエス・コーポレーション  
乳酸菌生成エキス研究室 編集スタッフ一同